

先端科学技術研究科 修士論文要旨

所属研究室 (主指導教員)	計算行動神経科学 (田中 沙織 (教授))		
学籍番号	2411051	提出日	令和 8年 1月 19日
学生氏名	大西 達也		
論文題目	動画の視聴スタイルが認知機能に与える影響の解明		
要旨			
近年、デジタル技術の発展と動画プラットフォームの高度化により、日々大量の動画コンテンツが生成・消費されている。コンテンツの供給過多により、視聴者は倍速再生や再生位置のジャンプ(シーク)、ショート動画の連続視聴といった操作を通じて、限られた時間での満足や情報取得を最大化する効率重視な視聴スタイルを選択しやすくなった。このような視聴スタイルは若年層を中心に広まりつつある。こうした視聴の「効率化」は、短期的には退屈や不快感を回避しやすい一方で、問題的使用と関連するメンタルヘルス指標の悪化や、注意力を含む認知機能への影響といったリスクが指摘されている。本研究では2つの実験を通して、効率的視聴とユーザー特性の関係性、さらに特定の視聴スタイルが持続的注意に影響を及ぼすかという因果関係の解明を試みた。実験1では、日常環境におけるYouTubeの視聴行動ログと心理特性を取得し、正準相関分析(CCA)を実施した。その結果、ショート動画視聴割合が不注意による失敗傾向・依存傾向等との関係性を示した。実験2では、実験室環境において、同一被験者にショート動画と通常動画の短時間視聴を行い、その直後に持続的注意力に影響が見られるかを調査した。反復測定分散分析の結果、動画条件と持続的注意力の間に有意な相互作用が見られた。			